

本籍			氏名	岡村 泰孝
現住所			出生年月日	昭和四年六月一三日生
出生地			旧氏名	
年	月	日	事	項
二七	一一	一七	司法試験第二次試験合格	司法試験 管理委員会
二八	三		京都大学法学部卒業	
〃	四	一	司法修習生を命ずる	最高裁判所
三〇	四	七	司法修習生の修習終了	〃
〃	〃	九	検事二級（大阪地方検察庁検事）に採用する	法務省
〃	一二	二六	高知地方検察庁検事に配置換する	〃
三二	四	一	徳島地方検察庁検事に配置換する	〃
三三	三	二八	静岡地方検察庁検事に配置換する	〃
履歴書用紙 法務省				
昭和三三	三	二八	静岡地方検察庁浜松支部勤務を命ずる	法務省
三四	三	一六	名古屋地方検察庁岡崎支部検察官事務取扱を命ずる	
			但し期日は三月一八日一日限りとする	最高検察庁
三六	三	二五	水戸地方検察庁検事に配置換する	法務省
三八	八	一五	東京地方検察庁検事に配置換する	〃
四〇	三	二五	函館地方検察庁検事に配置換する	〃
四二	一二	二八	東京地方検察庁検事に配置換する	〃
四三	九	一〇	司法研修所教官に充てる	最高裁判所
四四	一	二九	昭和四四年度司法修習生考試につき司法修習生考試	
			委員会臨時委員を委嘱する	〃
〃	一二	二四	昭和四五年度司法修習生考試につき司法修習生考試	
			委員会臨時委員を委嘱する	〃

岡村泰孝

年	月	日	事	項	省
昭和五三	一	二五	委員会審査委員を委嘱する	最高裁判所	
五四	四	九	東京地方検察庁検事に配置換する	法務省	
〃	〃	〃	東京地方検察庁刑事部長を命ずる	〃	
〃	〃	二七	法制審議会少年法部会委員に併任する	〃	
五五	三	五	オランダ、西ドイツ、フランス、イタリア、スイス、連合王国及びアメリカ合衆国の各国へ出張を命ずる		
			出張期間は昭和五五年三月一日から同年四月二九日までとする		
〃	六	二	東京地方検察庁特別捜査部長を命ずる	〃	
〃	〃	〃	東京地方検察庁刑事部長を免ずる	〃	
〃	七	一五	法制審議会少年法部会委員の併任を解除する	〃	
昭和五二	一	一九	昭和五二年度司法修習生考試につき司法修習生考試	最高裁判所	
五一	一	二八	委員会審査委員を委嘱する	〃	
〃	〃	〃	昭和五一年度司法修習生考試につき司法修習生考試	東京高等検察庁	
〃	八	一五	東京高等検察庁検察官事務取扱を免ずる	法務省	
五〇	一	二九	委員会審査委員を委嘱する	最高裁判所	
〃	六	一七	昭和五〇年度司法修習生考試につき司法修習生考試	東京高等検察庁	
〃	三	六	司法修習生考試委員会審査委員の委嘱を解く	〃	
四九	二	六	昭和四九年度司法修習生考試につき司法修習生考試	〃	
〃	一二	六	司法修習生考試委員会委員の委嘱を解く	〃	
四七	四	一一	司法研修所教官に充ててゐることを解く	〃	
四六	一	二七	司法修習生考試委員会委員を委嘱する	最高裁判所	

昭和五九	年	月	日	事項	庁名
五六	一	二	一	那覇地方検察庁検事正に配置換する	〃
〃	〃	〃	〃	福岡高等検察庁検事に併任する	〃
〃	〃	〃	〃	福岡高等検察庁那覇支部勤務を命ずる	〃
〃	〃	〃	〃	福岡高等検察庁那覇支部長を命ずる	〃
五八	三	二	二	最高検察庁検事に配置換する	〃
〃	〃	〃	〃	福岡高等検察庁検事の併任を解除する	〃
〃	〃	〃	〃	福岡高等検察庁那覇支部勤務を免ずる	〃
〃	〃	〃	〃	福岡高等検察庁那覇支部長を免ずる	〃
〃	八	一五	〃	公安調査庁次長に充てる	公安調査庁
〃	〃	〃	〃	公安調査官を命ずる	〃
〃	九	八	〃	第百回国会政府委員を命ずる	内閣
五九	二	六	〃	第百一回国会政府委員を命ずる	〃
〃	一一	二〇	〃	法務大臣官房長に充てる	法務省
履歴書用紙 法務省					
昭和五九	一一	二〇	〃	公安調査庁次長に充てゐることを解く	公安調査庁
〃	〃	〃	〃	公安調査官を免ずる	〃
〃	一二	一	〃	第百二回国会政府委員を命ずる	内閣
〃	〃	一〇	〃	法制審議会幹事に併任する	法務省
〃	〃	一九	〃	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員に任命する	最高裁判所
六〇	一	一八	〃	日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第二十五条による合同委員会日本政府代表代理を命ずる	内閣
〃	〃	〃	〃	日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定第二十條による合同委員会日本政府代表代理を命ずる	〃
〃	一〇	一四	〃	第百三回国会政府委員を命ずる	〃

年	月	日	事	項	庁	名
昭和六十一	一	二七	亮春対策審議会幹事に任命する		内閣	
	二	一八	日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第二十五条による合同委員会日本政府代表代理を免ずる			
			日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定第二十条による合同会議日本政府代表代理を免ずる			
	三	一	法制審議会司法制度部会委員に併任する		法務省	
	九	一一	第百七回国会政府委員を命ずる		内閣	
			動物保護審議会幹事に任命する			
			自然環境保全審議会幹事に任命する			
	一〇	二〇	法制審議会幹事に併任する		法務省	
	一二	一〇	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員に任命する		最高裁判所	
		一九				
			法務事務次官前田宏外国出張につき同事務次官事務代理を命ずる			
			事務代理の期間は昭和六〇年一〇月二二日までとする			
			る		法務省	
	一二	一九	法務省刑事局長に充てる			
			検察官特別考試審査会委員に併任する			
			副検事選考審査会委員に併任する			
			第百三回国会政府委員を命ずる		内閣	
			法制審議会刑事法部会委員に併任する		法務省	
			法制審議会少年法部会委員に併任する			
		二四	第百四回国会政府委員を命ずる		内閣	
六一	一	九	検察官適格審査会予備委員に任命する			
		一七	青少年問題審議会幹事に任命する			
		二二	司法修習生考試委員会委員を委嘱する		最高裁判所	

履歴書用紙

法務省

年	月	日	事	項	庁	名
昭和六三	七	二六	中央交通安全対策会議幹事に任命する		内閣	
"	"	二九	国有財産中央審議会委員に併任する		大蔵省	
"	八	一	地域改善対策協議会委員に任命する		内閣	
"	"	四	公害対策会議幹事に任命する		"	
"	"	五	消費者保護会議幹事に任命する		"	
"	"	九	海外移住審議会幹事に任命する		"	
平成元	八	一	最高裁判所一般規則制定諮問委員会委員に任命する		最高裁判所	
二	三	三一	平成三年三月三十一日まで勤務延長する		法務省	
"	六	一三	次長検事に任命する		内閣	
"	"	"	一級に叙する		"	
"	"	"	国有財産中央審議会委員の併任を解除する		大蔵省	
"	"	二〇	法制審議会委員に併任する		法務省	
"	七	五	司法修習生考試委員会委員を委嘱する		最高裁判所	
"	"	"	司法修習生考試委員会委員の委嘱を解く		"	
"	七	五	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員を免ずる		最高裁判所	
"	"	"	司法試験管理委員会委員長に併任する		"	
"	"	"	法制審議会幹事の併任を解除する		"	
"	"	"	法制審議会少年法部会委員の併任を解除する		"	
"	"	"	法制審議会委員に併任する		"	
六三	六	一七	法務事務次官に任命する		法務省	
"	"	二八	第百十二回国会政府委員を命ずる		内閣	
"	"	"	法制審議会少年法部会委員に併任する		"	
"	一一	一九	法制審議会刑事法部会委員に併任する		法務省	
"	一一	二七	第百十一回国会政府委員を命ずる		"	
六二	七	六	第百九回国会政府委員を命ずる		"	
"	"	二九	第百八回国会政府委員を命ずる		内閣	

履歴書用紙

法務省